

あい きょう しげ ゆき 愛敬重之 後援会 だより

2026
4月20日
No. 44 85

発行責任者 後援会会長
加藤厚司



市の発展のため、スポーツ振興などを提案

日ごろの議員活動に対し、ご支援いただきありがとうございます。

2026年第1回市議会定例会は3月19日に閉会し、新年度予算が賛成多数で可決承認されました。一般会計当初予算額616.6億円です。

また、2026年度予算を「**元気なまちづくり・ウェルビーイング実感予算**」と名付け、市民の皆さんがウェルビーイングを実感し、「桑名が元気で選ばれるまち」となるための施策を盛り込んでおり、チャレンジを続け、成長と発展に向けたまちづくりを進めていくための予算となりました。

愛敬重之
公式HP

<http://www.aikyo-kuwana.net/>



2026年 第1回市議会定例会一般質問

【質問項目】※質問について4点のところ、以下の2点にピックアップして内容と回答を記載

ースポーツ振興ビジョンについてー

- ①スポーツを取り巻く環境変化を踏まえた市の対応
- ②スポーツ推進計画を策定する考え

現状、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の三本柱により、地域スポーツ振興からスポーツコミッションまで、さまざまな政策を展開してきました。しかしながら、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しており、スポーツに求められる役割も、スポーツ振興や健康増進にとどまらず、スポーツを通じた経済成長の牽引、インクルーシブ社会の実現など多様化しています。

このような中、本市でも障がいの有無、性別、年齢、国籍、地域を問わず、誰もが参加できる環境づくりを推進するとともに、公認競技場の活用による交流人口の拡大や、プロスポーツチームと企業・行政との連携強化を図る必要があります。スポーツの持つ力を活かし、全員参加型の共生社会の実現を目指していくことが重要であると考えます。

ー市の回答(抜粋)ー

①について

大規模な公式大会やプロスポーツの試合を誘致するには、ハード面の整備が不可欠です。施設の更新や機能向上にあたっては、競技利用にとどまらず、観戦環境の充実や大会開催、合宿誘致による集客・交流の可能性を見据えるとともに、ユニバーサルデザインへの対応や運営の効率化など、総合的な視点で検討する必要があります。

また、公共交通の利便性を踏まえた立地や動線の在り方に加え、民間活力の導入も視野に入れ、持続可能な施設整備・運営を検討していく必要があります。さらに、スポーツ振興担当部局にとどまらず、関係部局と連携しながら、補助制度の活用を含めた財源確保や事業施策の整理に努めていきます。

②について

本市のスポーツ推進計画については、2024年度の計画期間満了を受け、指標の再設定を行なったうえで、計画期間を3年間延長したところであります。

また、新たな計画の策定については、桑名市総合計画と同様の基本的な考え方のもと、スポーツを取り巻く環境変化に的確に対応できるよう、スピード感と柔軟性を持った施策の展開に努めてまいりたいと考えております。

ー答弁に対する考えー

最近、市で新しく建設されている施設は、公民が連携して知恵を出し合える環境が完成している点で評価しています。一方、「市のとるべきスポーツ施策」についてはさまざまなスポーツ団体と情報共有していくことを求めます。

例えば、NTN総合運動公園サッカー・ラグビー場、多目的グラウンドには最近の気象条件を鑑みて、ナイター設備は必須です。関係者と情報交換を密にして、さらに利用しやすい施設にするべきと考えます。

－健康経営優良法人認定制度について－

①市として認定取得を目指し申請を提案

まず、健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康保持・増進に戦略的に取り組む優良な企業を国が認定する制度であり、経済産業省が2017年に創設し、企業の健康経営への取り組みを「見える化」して社会的評価を高めることを目指しています。近年では、地方自治体が認定を受けている例があり、近隣では、小牧市、浜松市などが取得しています。本市でも、さまざまな方法で職員の働き方改革を行なっていると認識しています。昨年11月25日に本市・商工会議所・アクサ生命株式会社で締結をした「健康経営の普及促進及び健康増進に関する連携協定」と併せて、ぜひ、制度認定取得をし、優秀な人材確保や対外的なPRにつなげていくべきと考えます。

－市の回答(抜粋)－

議員からは、「本市職員の健康保持・増進への取り組みを対外的に「見える化」し、優秀な人材確保につなげるため、健康経営優良法人の認定取得を目指してはどうか」と提案をいただきました。健康経営優良法人は、経済産業省が推進するもので、企業や団体の「健康経営」に向けた取り組みを評価し、公式ロゴマークの使用やブランド価値向上といったメリットが期待できます。また、認定を受けることは、市の信頼性を高め、採用競争力を強化し、経営資源として「健康」を戦略的に活用する有効な手段といえます。職員が心身ともに健やかで、その能力を最大限に発揮できる環境は、組織の活性化や市民サービスの質の向上につながることから、近年では企業だけでなく自治体においても認定取得を目指す動きが広がりつつあります。

本市においても、職員の健康管理と職務能力の向上を図るため、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。具体的な取り組みとしては、開庁時間の見直し、DXの活用による事務処理の効率化推進、職員の長時間労働の改善に努めています。また、仕事と育児・介護の両立支援制度拡充、定期健康診断やストレスチェック制度の活用など、職員の健康保持・増進に向けた施策にも積極的に取り組んでいます。健康経営優良法人の認定取得は、こうした取り組みの客観的評価が得られるとともに、対外的なPRや人材確保にも有効であると考えています。本市としても、より働きやすい職場環境づくりに加え、有為な人材の獲得と離職防止の観点からも、働き方改革の取り組みをさらに充実させ、認定取得を目指していきます。

－答弁に対する考え－

本件に対して、市長から非常に前向きな答弁をいただきました。ものづくり産業労働組合(JAM)の組織内議員として、職員の皆さんが心身ともに健やかで、その能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを目指していきます。そのためにも、健康経営優良法人制度の認定取得を通じて「見える化」を図り、組織の活性化、価値向上につなげていただきたいと思います。

議員活動報告

1月21日に「国道1号桑名東部拡幅事業促進期成同盟会」で伊勢大橋長良川鋼上部工事現場視察に参加することができました。今後予測される気候変動の影響による災害リスクの増大も見据え、本架橋が地域の生命・財産を守る重要な防災拠点となるよう、早期の完成を望みます。



伊勢大橋架け替え工事視察の状況①



伊勢大橋架け替え工事視察の状況②